

わが家を取まく薬草

荒川九兵衛

先日、学校の図書室で書物を探していたら「福井県にある薬草とその効用」と題した、ぼろぼろの冊子を見つけたので、何気なく開いて見ると薬草百花園の前田秀丸さんが書かれた書物だった。

その書き出しに「オオバコの独り言」と題した（学校児童生徒への）次のような一文があった。

わたしは田舎の路傍に咲いたオオバコです。元来——わたしは宿根草なので、昨年先輩たちと同様に、この春、地下からぐんぐんと長い葉柄を出して今漸く茎上に穂状の小花を咲かせたところです。

ところが最近大変な事が起っています。学校帰りの子供たちがただ、わたしたちを手当り次第に根元から引千切つて茎と茎で引合い相撲をしたり結んで長い縄にしたり、いろいろな遊びをはじめました。

さあ大変、こうなるとわたしも明日の生命が危ういのです。そう考えるとわたしはどうあつても、あんな子供たちの玩具となって死にたくないからです。

実に無慈悲だと思います。そして又わたしたち植物の特性や用途を知らなさ過ぎると思います。あまりにもありふれたわたしですがもっとわたしを有効に使って下さい。そのためにこうして花を咲かせ実を結ぼうとしているのです。ただ時節がくれば枯れ果てるような無意味な成長はしていません。それなのに、玩具なんかにはされては揚句の果て、ポイと捨てられてはたまりません。また大人だって、どうかと思います。わたしの薬用効果も知らずに、わたしなんかを踏み越えて、わざわざ町の薬局へ出かけてわたしの体から作った高い薬を買ってきて、服用しておられるのをながめただけでくやくてなりません。わたしを次のように使って見て下さい。

葉を乾燥して煎じて飲む——飲みやすくして健胃剤になります。毎日お茶として日常生活に取り入れたら一石二鳥です。

生の葉を火にあぶって腫物に貼って下さい。膿液を吸い出してくれます。又、葉と茎根を煎じて飲んで下さい。消化不良、赤痢等によく効きます。お友達の甘草と共に一緒に煎じて飲んで下されば神経衰弱とリョウマチに効があります。

次に種子の乾燥したのも是非煎じて飲んで下さい。強壯剤として有名ですし、下痢止め、利尿剤、刺激緩和等の効目があります。わざわざ薬局まで車前子を買に行かないで下さい。

わたしの近所に住むタンポポだつてそうです。もう450年も前ですが盛にアメリカに輸出され、あちらで薬にされて再び日本に輸入されています。

どうか副作用のないわたしたち薬用植物を見直して可愛がつて下さい。というようなことが書かれ

ていたので遂心をひかれて家の周りを見まわして見た。

春の庭を真紅に彩色アズの花に始まってボタン、ジャクヤク、アジサイ、夏から秋にかけて庭に咲き競うアサガオ、キキョウ、ハギ、トリカブト、ケイトウ、ヒマワリ、マンジュシャゲ等観賞用としてだけでなく薬用植物であるのに驚く。そこで今一度詳しく調べて見たら余りにも数多く、高価な費用を出して副作用を起す薬を無雑作に買ってオオバコに笑われた自分の愚を今更のように口惜しく思つてならない。次に吾が家のまわりの薬草の効用を記して見ることにする。

ア	カ	ザ	虫歯	莖葉を乾燥してその煎汁を口中に含む。
			毒虫刺され	生葉の搾り汁を塗布する。
ア	サ	ガ	下痢	種子を1回に6〜7粒煎じて服用する。
ア	ジ	サイ	解熱	花を乾燥し煎じて服用する。
ア	オ	キ	湯火傷	生葉をもんで塗布する。
			擦傷	
ア	ン	ズ	肺炎、肺結核	仁は青酸を含んで薬効が多く果実を食べた後仁を食べるとよい。
			胃痛	
イ	ノ	コ	収れん剤	地下莖を煎じて服用する。特に産後の婦人には薬効が多い。
			利尿剤	
イ	チ	ゴ	貧血	果実は鉄分を多量含んで薬効がある。
			下熱	
イ	チ	ジ	いぼ取り	新鮮な葉の白汁を塗布する。
			消化剤	果実は蛋白質をペプトンに変化させる作用がある。
イ	ヌ	タ	下毒剤	葉莖を蔭乾にして煎じて服用する。
			回虫駆除	
オ	オ	バ	健胃	オオバコの独り言で記した通り。
			消化等	
オ	モ	ダ	利尿	地下莖を乾燥して煎じて服用する。
			脚気	
カ	キ	ド	小児癩	カントリソウの名のように葉莖を蔭乾して煎じて服用する。
			強壯剤	
			下痢、痛風	オトギリソウ、ヤブランと共に煎じて服用する。丹毒悪瘡には濃煎汁を患部に塗布する。
			腎痛、黄だん	
			丹毒、悪そう	

カタバミ	淋病	葉茎を乾燥して煎じて服用する。
	痔脱肛	煎汁を外用する。
	湯火傷	
	皮膚病	生の葉茎をもみつぶして付ける。
	かいせん	
カワラナデシコ	利尿通経	種子を煎じて服用する。
	膀胱淋疾	
カワラヨモギ	利尿、黄だん	葉茎を蔭乾して煎じて服用する。
	解熱、頭痛	
カラシナ	発泡剤	種子の粉末を練って布地に張って使用する。人事不省、昏睡虚脱等に特によい。
カラスビジャク	脚気、つわり	根（球形）を煎じて服用する。生姜を混ぜて服用すれば薬効更に大きい。
	胃カタル	
キカラスウリ	黄だん、瘡毒	根を乾燥して煎じて服用する。
	胃腸	
	汗も	根の澱粉から製造した天瓜粉は常用されている。
キキヨウ	呼吸器鎮咳	根を乾燥して煎じて服用する。
	強壯解熱	4月頃採集し蔭乾すること。
ギンギン	ひぜん田虫	根の汁液を塗布する。
	腫物	
	痔、便秘	葉茎を乾燥して煎じて服用する。
ギボウシ	腫毒	葉茎の搾り汁を服用する。
	よう腫	
クソニンジン	健胃剤	葉茎を乾燥して煎じて服用する。
	ひぜん悪瘡	生葉をもんだ汁を塗布する。
	毒虫刺され	
クルミ	通経剤	樹皮を乾燥して煎じて服用する。
	淋病、梅毒	樹皮と実を共に煎じて服用する。
ケイトウ	痔病	葉茎を乾燥して煎じて服用する。
ゲンノシヨウコ	下痢、腹痛	葉茎を乾燥して煎じて服用する。
	切傷、はれ物	濃い煎汁を外用する。

ゴ	ボ	ウ	かいせん	根を煮た汁を患部に塗布する。	
			はしか	同汁を服用する。	
コ	ウ	ホ	ネ	婦人病	根を乾燥して煎じて服用する。
ザ	ク	ロ	下痢止め	花を乾燥して煎じて服用する。	
			条虫駆除	根皮幹枝の皮部を乾燥して駆除剤を作る。	
サン	シ	ヨ	ウ	健胃、整腸	} 種子を乾燥して煎じて服用する。
			下痢止め		
シ			ソ	利尿	種子を煎じて服用する。
シ	ヨ	ウ	ブ	健胃剤	根を乾燥して煎じて服用する。
シ	ヤ	ク	ヤ	腹痛、婦人病	} 根を乾燥して煎じて服用する。
			下痢止め		
ス	イ	バ	かいせん	葉茎をもんでしぼり汁を塗布する。	
			健胃	花を乾燥して煎じて服用する。	
ス	ギ	ナ	淋疾	全草を乾燥して煎じて服用する。	
ス	ペ	リ	ヒ	ユ	} 葉茎を乾燥して煎じて服用する。
			悪瘡淋病		
			利尿		
			虫刺され	} 濃煎汁を局部にすりつける。また蛇に咬まれた時すりつけると共に服用する。	
			かいせん		
ス	イ	セ	ン	腫物	地下茎をすりつぶした汁液を外用する。
セ			リ	吐瀉	葉を乾燥して煎じて服用する。
ダ	イ	コ	ン	胆石病	大根汁を食用する。
			消化剤	大根おろしを作って食用する。	
タ	ビ	ラ	コ	風邪、とりめ	} 全草を蔭乾し、煎じて服用する。
			肋膜炎		
タ	ン	ボ	ボ	健胃、解熱	} 根を乾燥して煎じて服用する。
			強壯、発汗		
チ	ガ	ヤ	ぜんそく、黄だん	} 根を甘草と共に煎じて服用する。	
			むくみ、糖尿病		
			月経不順、風邪	} 根を煎じて服用する。	
			腹痛、百日咳		
ヂ	シ	バ	リ	耳だれ	茎の白汁を外耳道に注入する。
			健胃	葉茎を煎じて服用する。	

チドメグサ	傷(すり傷) たむし	}	葉茎をもみつぶして局部につけると出血と痛みを止める。
トウガラシ	トラホーム		煎汁を点眼薬として使用する。
トウキビ	利尿 淋疾	}	根を煎じて服用する。
ドクダミ	下痢 駆虫剤		}
	腫物、打ち傷 ひぜん、田虫	生葉をむし焼にして局部に塗布する。	
ナヅナ	赤痢、腹痛	根葉の黒焼きにして服用する。	
ナツメ	強吐、解熱 声がれ、咳	}	成熟した果実をむして乾燥し煎じて服用する。
ナンテン	強壯 解熱		実を煎じて服用する。
	吐瀉 興奮	}	葉を煎じて服用する。
ハギ	めまい のぼせ		}
	そばの中毒		
ハコベ	脚気		葉茎を食用する。又産後婦人の乳の出をよくする。
バラシ	肺病 咳	}	根を煎じて服用する。
	淋疾		根の生をすりおろし酒と共に服用する。
ヒオウギ	解熱、経痛 傷寒、むくみ	}	根茎を乾燥して煎じて服用する。
マンジュシャゲ (ヒガンバナ)	腫物、ひぜん たむし		根部をおろし汁を局部につける。
	防虫剤		根部粉末を書棚や風呂に入れる。
ヒマワリ	解熱、駆風 リヨウマチ	}	葉茎花を乾燥して煎じて服用する。
	解熱剤		葉茎花10gを酒精50gに浸し出した汁を服用する。

ヒルガオ	利尿、強壯 興奮	}	全草を乾燥し煎じて服用する。
フキ	傷口、血止め 虫下し、健胃		葉のしぼり汁を塗布する。 根を煎じて服用する。魚の骨がのどに刺った時花の粉末を吹き込むか、根や花を煎じて服用する。
ヘチマ	火傷		ヘチマ水がよい。グリセリンを混ぜれば化粧水となる。
ホシクサ	眼病		葉、茎、花を蔭乾にし煎じてその汁で洗顔する。
ボタン	頭痛、腰痛 関節痛、経痛 子宮内膜炎、痔	}	根の皮を煎じて服用する。
ホホズキ	駆虫、かんとり 淋疾、経痛		果実を生そのまま食べる。 根を煎じて服用する。
ユキノシタ	小児の咳 ひきつけ てんかん 漆かぶれ	}	葉の汁に砂糖を加え服用する。 葉を塩でもんでつける。
ヨモギ	腹痛、経痛 強壯、頭痛 きよたん		全草を乾燥して煎じて服用する。
ヨメナ	利尿、腫物 悪瘡 毒虫刺され	}	全草を乾燥して煎じて服用する。 生葉をすりつぶしてつける。

まだまだ詳しく調べると沢山の植物も薬用になり薬効も多いことだろうが又次の機会にゆずることにします。

藤岡中学校長